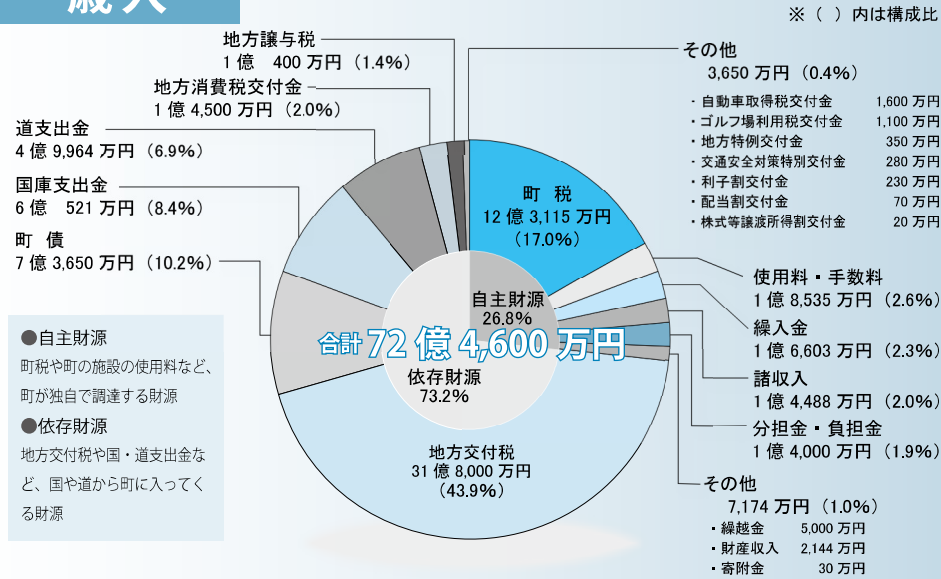
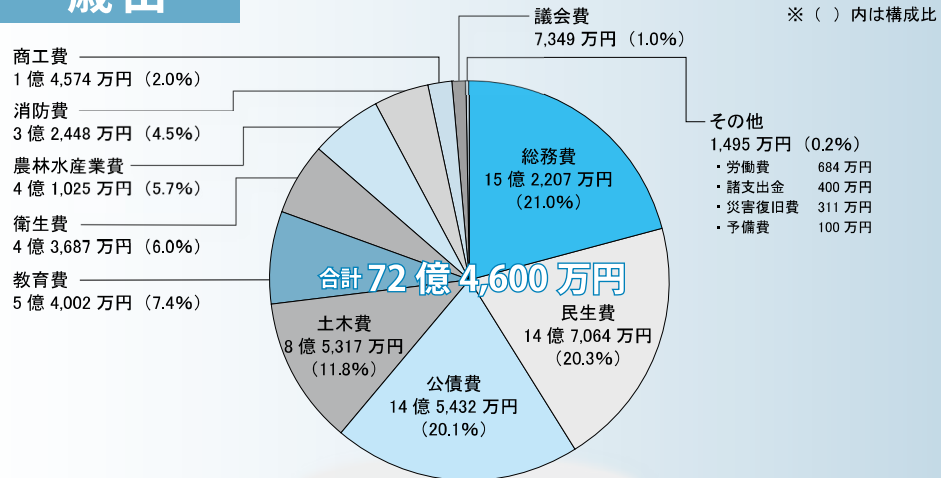


一般会計予算72億4,600万円の内訳

歳入



歳出



【解説】

目的別(予算科目ごと)の歳出内訳は、上記円グラフのとおり、職員の給料や町の施設維持管理などに係る「総務費」が歳出全体の21.0%と最も多く、次いで児童、高齢者、障がい者福祉などに係る「民生費」が20.3%、町の借金返済に係る「公債費」が20.1%などとなっています。

なお、経費を性質別でみた場合は、事業や団体運営などに対する補助金などの「補助費等」が21.0%で最も多く、次いで借金返済に係る「公債費」が20.1%、職員給与などに係る人件費が15.9%などとなっています。

栗山の「安定と充実」のため

総額 126 億円を投資

3月19日開催の第2回栗山町議会定例会で、平成24年度予算が可決されました。

町は、この予算に基づき、まちづくりに関するさまざまな事業に取り組んでいきます。

平成24年度の町全体の予算総額は、126億7,200万円、昨年度と比較し627.8万円の増となっています。

町の予算は、目的別に7つの会計で区分されており、このうち、一番大きな会計で、福祉、教育、産業など幅広い事業を行う「一般会計」は、72億4,600万円で、昨年度と比較し、6100万円の減となりました。

予算の編成に当たっては、「栗山町第5次総合計画」で計画している主要事業の予算確保とともに、政策評価の評価結果の反映、行財政改革プランに基づいた事業の見直しや経費節減など、最小の経費で最大限の効果を上げるため、メリハリのある予算配分に努めました。

各会計予算の概要

区分	平成24年度	平成23年度	対前年比 (%)
一般会計	72億4,600万円	73億700万円	△0.8
国民健康保険特別会計	18億591万円	18億1,677万円	△0.6
北海道介護福祉学校特別会計	1億3,787万円	1億3,402万円	2.9
介護保険特別会計	13億450万円	13億542万円	△0.1
後期高齢者医療特別会計	1億8,428万円	1億7,033万円	8.2
水道事業会計	6億3,513万円	6億1,450万円	3.4
下水道事業会計	12億8,703万円	11億8,990万円	8.2
合計	126億72万円	125億3,794万円	0.5

※平成23年度までの「下水道事業特別会計」および「農業集落排水事業特別会計」については、平成24年度より、「下水道事業会計」として会計を1つに統合しました。

これは、水道事業会計と同様に地方公営企業法の適用を受け、会計方式を従来の官庁会計方式から企業会計方式に移行し、ストック情報も含めた会計処理により、より一層経営の健全化を図るものです。

平成24年度予算の概要

今年の主要事業

市民・地域・行政
みんなが主役のふるさとづくり

住民自治
自治区交付金 246万円

町民主体のまちづくりを推進するため、各地域で設立された「まちづくり組織」に対し、運営経費などを助成。



熱心に議論される「松風・桜丘まちづくり協議会」の様子

町民参加と協働

自治基本条例制定・普及啓発事業 191万円

平成25年4月の「自治基本条例」制定に向け、町民アンケート調査の実施、概要パンフレットの作成、セミナー開催など。

行政運営

政策評価事業 61万円

町民視点に立った事業の評価、改善を進めるための「栗山町政策評価委員会」運営に係る経費。

行財政改革

コンビニエンスストア収納の導入 42万円

納税などに関する利便性向上のため、本年度から、コンビニエンスストアで公金収納を開始。

生活・環境

人と自然にやさしいふるさとづくり

自然環境

ふるさと体験教育事業

1185万円

「雨煙別小学校 コカ・コーラ環境ハウス」を拠点に、自然体験教育プログラムの充実を図り、町内児童・生徒、さらに幼児を対象に「ふるさと体験教育」を実施。

環境衛生

一般廃棄物中間処理施設運営

(炭化処理施設) 2267万円

昨年4月から本格稼働の「炭化処理施設」に係る、燃料費や機器借上料などの運営経費。

環境保全

住宅用太陽光発電システム設置補助 315万円

環境にやさしいまちづくりを推進するため、「住宅用太陽光発電システム」を設置する方に、設置費用の一部を助成。

消防

消防関係設備整備

(南空知消防組合負担金) 3326万円

消防・救急体制の充実強化のため、高規格救急車を更新、また、イベント時など、貸出用のAED(自動体外式除細動器)を購入。

防災

食材などの調達・確保事業

300万円

災害時の備えとして、昨年度に引き続き、備蓄用非常食および資機材などを購入。



総合防災訓練で配られた備蓄用非常食アルファ米

医療・保健・福祉
安心して暮らせるふるさとづくり

保健

特定不妊治療費助成事業

45万円

医療保険適用外の高度な不妊治療を受けられる方へ、治療費用の一部を助成。

任意予防接種費助成事業

928万円

子宮頸がん、小児肺炎球菌、ヒブ、水ぼうそう、おたふくかぜを予防するワクチン接種費用を全額助成。



子宮頸がん任意予防接種説明会に参加する子どもたち

特定健康診査等事業

1574万円

特定健診、生活習慣病予防健診などのほか、受診率向上を目的に、連続受診者および若年層を対象とした無料健診も新たに実施。

医療

地域医療対策事業

1億3783万円

栗山赤十字病院の救急医療および地域医療機能確保事業、また、医療機器導入に対し助成。

地域福祉

地域福祉を担う人づくり事業

60万円

栗山町社会福祉協議会が実施する熟年人材センターの運営支援、また、ボランティアポイント制度導入により公共施設の利用を促進。

児童福祉

乳幼児および児童医療費助成事業

3101万円

子育て家庭の医療費負担軽減のため、義務教育終了時までの医療費を助成。

第5次総合計画の主要事業

第5次総合計画は、財政健全化と自立的かつ個性的な町政運営の両立を目的に、平成20年度から平成27年度までの7年間を計画期間とし、町の持続的発展のため、取り組むべき施策などを具体化した町民全体の「まちづくり計画」です。

この中で、各施策ごとの基本目標の実現のため、重点的に取り組むことと位置付けている事業を「主要事業」としています。

主要事業については毎年度、政策評価を実施し、進捗状況をはじめ、事業の妥当性及び効率性などを内部・外部双方の視点から検証し、政策の質の向上と町民満足度の高い事業展開を図っています。



高齢者福祉

高齢者福祉サービス事業 866万円

高齢者介護福祉金支給事業、長寿礼金など、高齢者福祉に関する支援事業を実施。

障がい者福祉

障がい者福祉サービス事業 864万円

福祉ハイヤー利用料金助成、特定疾病患者等通院費等助成など、障がい者福祉に関する支援事業を実施。

教育・文化・スポーツ
人々が輝くふるさとづくり

学校教育
特別支援教育支援員配置 1084万円
発達や学習に遅れのある児童生徒に対し、一人ひとりの個性にあった指導・支援を実施。

校内ネットワーク整備事業 761万円
校務用パソコン整備、校務支援システムの導入、電子黒板の導入など、学校のネットワーク環境を充実。



英語指導助手に教わる角田小児童たち。奥に見えるは電子黒板

観光
栗の活用プロジェクト 300万円
国内最北端の「ブランド栗」の産地化に向け、先進地からの技術導入など、プロジェクトを推進。

移住者ネットワークの整備 248万円
「くりやま移住促進協議会」と連携し、移住・定住のPR活動や受入環境の整備を推進。

都市基盤
快適な暮らしを創るまちづくり

街なみ景観 3300万円
湯地区環境整備
湯地区の土捨場跡地に、周囲の景観に配慮した地域住民の憩いの場として、植栽や園路整備などを実施。

道路網
道路改良事業 8388万円
湯地継立線および杵臼本線の道路改良事業を継続実施。

介護福祉学校周辺整備事業

1135万円
町道から学校への進入路整備に係る調査設計、旧別館の解体など、学校の周辺環境を整備。

社会教育
町民の学び支援プロジェクト 48万円
出前講座や町民講座など、地域の人材を活用した事業展開により、多様な学習機会を提供。

芸術文化
芸術鑑賞事業 124万円
芸術文化の振興を図るため、芸術鑑賞、美術展などの鑑賞事業を実施。

スポーツ
スポーツセンター屋上防水改修事業 1600万円
施設の適正な維持のため、アリーナ屋上の防水シート改修を実施。

地域間交流
少年ジェット派遣事業 379万円
中高生を対象に、異文化交流を通じて国際感覚を養うための海外派遣事業を実施。

歩道整備事業 3460万円
桜丘鳩山線および富士本線に、新たに歩道を整備。

交通体系
町営バス事業・町営バス購入 5154万円
滝下線において、デマンド方式による本格運行を実施するとともに、ワゴン型バス(15人乗り)1台を購入。

住環境
公営住宅整備事業 2億8408万円
松栄団地2棟14戸の建替え、駐車場整備、児童遊園整備などを実施。

人によさしい住宅助成事業 700万円
住宅のバリアフリー改修や耐震改修などを行う方に、改修費用の一部を助成。

大学連携
くりやま地域大学の開講

30万円
大学公開講座など、協定大学の専門分野を生かした学習機会を提供。

産業
元気で活力あるふるさとづくり

農林業
栗山町農業振興公社事業 1300万円
農業振興に係る各種事業、また、新規就農者支援対策など、公社の事業運営を支援。

中山間地域等直接支払事業 1億6192万円
農業生産条件が不利な地域の耕作放棄防止など、地域や農業者の生産活動を支援。

景観緑肥モデル事業 200万円
地力増進、景観向上などに効果のある緑肥栽培導入への支援を試験的に実施。

道営基盤整備事業

5604万円
継続事業の杵臼地区のほか、新規に南学田南部、継立南部地区などの基盤整備を実施(道への負担金事業)。

森林整備加速化・林業再生事業 423万円
地球温暖化防止に向けた森林吸収量の向上を図るため、町有林の間伐などを実施。

工業・商業
商店街振興対策事業 571万円
「まちの駅栗夢プラザ」の事業支援のほか、商業者などが主体的に取り組む商工振興対策を支援。



毎年、栗夢プラザで開催される「めくみパーティ」

もっとわかりやすく…
こういう情報が不足している…
こういう仕組みなのか…

率直なご意見をお聞かせ下さい

財政モニターを
募集します！

皆様のご意見などをもとに、
町の財政情報をわかりやすく
情報発信します

- ◆応募資格：町内居住の満18歳以上の方
※議会議員および公務員以外の方
- ◆募集人員：10人
- ◆募集期間：4月9日(月)～4月27日(金)
- ◆任期：6月上旬～平成25年3月31日(予定)
- ◆内容：町の財政情報に対する意見、提言アンケート調査の回答など
- ◆報酬：無報酬とさせていただきます。
- ◆応募方法：申込書に必要事項を記入し申込先まで提出ください。郵送、ファックス、電子メールでもかまいません。なお、申込書は申込先で用意していますが、町ホームページからもダウンロードできます。
- ◆決定：選考により決定後、本人に通知します。
- ◆その他：申込書は返却しません。
- ◆問い合わせ・申込先
町経営企画課行政経営グループ
☎ 7503 Fax 3179
E-mail: gyouseikeiei@town.kuriyama.hokkaido.jp